

地域や子ども、保護者が 一緒になって活動しました!!

「くにみっ子わくわく体験事業」報告 国東市教育委員会 国見教育事務所

国見地域では、平成14年度から社会教育の一環として、地域や子ども会、保護者、中学校との協力により子どもたちの「社会力」を育むのを目標に「自然・体験・異年齢」をキーワードに「くにみっ子わくわく体験事業」(主催 くにみっ子わくわく体験事業実行委員会)を実施しています。本年度も土曜日を中心に5回の実践的活動を通じて地域、保護者、中学生が子どもたち(小学生)をサポートし、体験活動を実施いたしました。

1 企画委員合宿 8/23~24 みんなかん

中学生と小学生の代表が、企画から募集方法まで合宿をして話し合い、10月に「くにみ人生ゲーム」を実施することになりました。チラシも子どもたちが作りました。



2 うみたまご 星野和夫と行く わくわく磯体験 9/9 高島海岸



あいにくの雨でしたが、うみたまご職員と磯に出かけて、生物観察を実施、「にな拾い」をしていた保護者もいました。



3 くにみ人生ゲーム 10/28 みんなかん



子どもたちの募集とあって20チーム(約180人)参加がありました。体力・知力・「こべ」を使い皆で人生の様々なハードルを越えていきました。



4 文化財調査員と行く 伊美山噴火口跡登山 11/25 赤根・伊美山



文化財調査員さんと一緒に登り口の木を掻き分けながら進む子どもたち。「こんな道初めて!」と最後は保護者が弱音を吐いている場面もありました。近くにある馬頭観音や赤水観音にも参拝しました。

5 わくわくX'mas会 12/23 みんなかん

「リース作り」「木工教室」「ピンホールカメラ」の三つの製作教室を、地域の公民館講座の講師や大工さん等に協力していただき、約250名の参加者で実施しました。親子で作ったり、グループで作ったりと子どもたちや保護者の声が響き渡る半日でした。

